

# ジャズと和太鼓の競演 in 修徳

今年の『サマーナイト in 修徳』は、徳万町の通りに加えて万寿寺通も歩行者天国となり、子どもたちの遊びの場が広がった。フィリ

ピン人バンド「マイラーバンド」のセレナーデと「ショックストーム」の和太鼓との対照的な演奏が、エスニックな国際色を醸し出した。

## ステージもお店も会場すべて魅力

### 3枚のバック幕サマーナイト飾る

修徳公園の周り全部が歩行者天国になったので子どもたちの「飛び出し」の心配がなくなった。また、参加者が昨年より、さらに増加しても、バックの心配もない。本年度新調のバック幕が加わり3枚のバック幕が見つめる会場の準備は、すべてよしと確認され、緑の芝生に並べられたガーデンテーブル、模擬店のテ

に、今年もあつい夏の祭典が始まる。生オケのリハーサルが先走りして、ハフニングを紹介しておく。リハーサルで熱唱した方が、こ



マイラーバンドのマイラーさんのボーカルがやわらかい感触を与えた

昨年も出演したショックストーム今年も和太鼓、エイサーが人気だ



下京区長岡本晋さんの学区民へのエール



万寿寺ホコテンで子どもがのびのび遊ぶ



今年のはじめてのポップコーンも人気だ

修徳旗の掲揚に始まるセレモニーが終わるころには、会場はもう参加者が詰めかけて、昨年を上回る盛況となっていた。アトラクションの意味は、魅力でひきつけることであるが、ステージのうえの演技だけではなく、会

場の設営、主催者、参加者という人びとが、全体でつくりだす雰囲気人がびとをアトラクトする。今年も新しいバンドを呼んだ。3人のフィリピン人のバンドで、「マイラーバンド」という。ボーカルは気持ちのこわい女性のマイラーさんで、男性2人が管楽器と、シンセサイザーを担当している。得意な演奏はアメリカンジャズ、セレナーデなどという。やわらかな音楽と歌が続く。この点はよかったと人気があった。昨年の和洋調和の

和太鼓が人気の「ショックストーム」も引き、国産色のツイバンドとなつた。

和太鼓が人気の「ショックストーム」も引き、国産色のツイバンドとなつた。競演で、フィリピンとともに、沖縄のエスニック調の音楽が郷愁をかきたてる。

れで出番が終わったと、帰って「寝て？」しまった。司会者（櫻田鈴美）は困った。どうしよう。でも、どうしようもない。

今年も新しいバンドを呼んだ。3人のフィリピン人のバンドで、「マイラーバンド」という。ボーカルは気持ちのこわい女性のマイラーさんで、男性2人が管楽器と、シンセサイザーを担当している。得意な演奏はアメリカンジャズ、セレナーデなどという。やわらかな音楽と歌が続く。この点はよかったと人気があった。昨年の和洋調和の

和太鼓が人気の「ショックストーム」も引き、国産色のツイバンドとなつた。競演で、フィリピンとともに、沖縄のエスニック調の音楽が郷愁をかきたてる。

全体ゲームがふれあいを増幅させて終わる。子どもたちと女性会、児童館の先生たちの熱気で盛り上がる盆踊りにうつつと、模擬店のあたりで、



題字：伊藤博文

発行所  
修徳自治連合会  
PR・情報委員会  
修徳社会福祉協議会  
発行責任者 平井常夫  
編集責任者 小西宏之  
印刷所 (株)章美プリント



毎年、社会福祉法人下京区社会福祉協議会から助成金をいただいて、広報紙作成の一助にいたしております。



夏も暑い鉄板も熱い。熱い人気  
徳万町ホコテンのカキ氷冷たい人気



心が通じ合える安全のまちづくりの気持を込めてたすき授与式

たすき受け声かけ決意の先発町の皆さん

室町松原で声かけ開始子どもたちの笑顔

## 修徳公園でスタート

修徳学区が、「地域安心安全ネット」の「モデル地域」に選ばれた。地域（学区）の皆さんが、ほんとうに、安全な地域と実感し、安心して暮らせるまちにすることをきつかけになる具休策はきまった。

9月28日午前7時30分、修徳安心安全推進活動が成功させるため、「修徳声かけ愛のたすき

## 修徳声かけ愛のたすきリレー

### 安心安全求め各町へ

「おはようございます」「気をつけて行ってらっしゃい」と声をかけると、同じように、通行する人たちのあいさつや、通学児童からの笑顔が返ってきた。上々のすべりだであった。

告綴り」と「活動報告用のインスタントカメラ」が、それぞれが終わると、各4町内はそれぞれ別の町内へ戻り、初日の声かけ運動を実施した。

見て体験して学んで感じる  
文部科学省認定  
**漢検漢字資料館**  
もっと漢字が好きになるもっと学んでみたく入館無料  
漢字植物園、漢字水族館、漢字動物園、漢字サイコロゲーム・・・  
漢字を核に子どもから大人まで楽しく遊びながら学べる体験型の資料館です。  
●場所 漢検本部2階 京都市下京区烏丸通松原下  
●開館時間 10時～17時  
●日・祝休館  
●来館者に草花の種子をプレゼント！  
日本漢字能力検定  
平成16年度 第3回検定日 平成17年 1月30日(日) 受付締切  
平成17年度 第1回検定日 平成17年 6月19日(日) 受付締切  
平成16年 12月22日(水)  
平成17年 5月18日(水)

200万人の漢検  
財団法人 日本漢字能力検定協会  
本部/京都市下京区烏丸通松原下  
TEL.075-352-8300

社会福祉法人 京都福祉サービス協会  
高齢者福祉施設 **修徳**  
京都市下京区新町通松原下富永町110-1  
◆特別養護老人ホーム ☎351-2181  
◆ショートステイ ☎351-2181  
◆デイサービスセンター ☎351-2191  
◆在宅介護支援センター ☎351-2152  
◆児童館 ☎353-6399

サマーナイト in 修徳 推定参加人員

修徳学区	750名
洛央校区	250名
その他	680名
合計	1,680名

\*アンケート回答数、シール貼付数から推定  
\*\*模擬店券の前売り当日売り金額からの推定と合致した。

に共鳴したのか、スタッフたちの踊りと跳躍の連続である。共感もてるハフニングであった。女性のデュエット、児童館の先生方の合唱なども参加型のアトラクションの一つとしてよかった。

まさに、1,600人の楽しさとふれあいの共感の広場である。感涙に近い感情がこみあげてきた。ふれあい広場実行委員会 実行委員長 櫻田 佳正

# 修和会

## 戦後の発展を支えた世代にエール

### 創立30周年記念式典を祝う

## 研鑽積んだ演芸で祝意表わす

意義深い『修和会創立30周年記念式典』が脳裏をはなれなかつた。ここ半年、何度も何度も、協議と相談を重ね、満を持してきた。その日が、いよいよやってきた。



格調高い若柳流の祝舞「鶴亀」で修和会30周年記念式典を祝う名取山岸春子さん

### 第1部 式典

式典の司会中谷隆亮さんの声が会場に響く。第一部は中村弘一会長のあいさつではじまった。『修和会が発足したのは昭和49年9月15日ですが、実は、下京区の老人クラブが結成された昭和27年に、いち早く32名の「年輪クラブ」を発足させておりました。それ以後の代々の会長さんのご努力が偲ばれる。パブルがはじけた不況下にご就任の中村会長のご苦労を見ていただくに、お話を身にしみて、また、30年の歴史が蘇ってきて、われわれ役員は皆、一つの感慨に浸っていたように思えた。続いて平井常夫修徳自治連合会会長のあいさつと玄武淑子下京区シルバークラブ連合会会長の祝辞をいただいた。お二

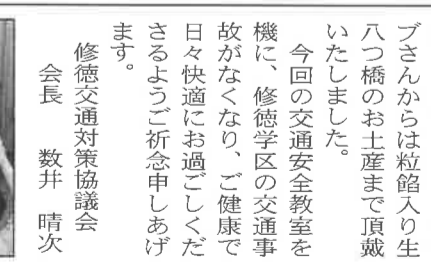
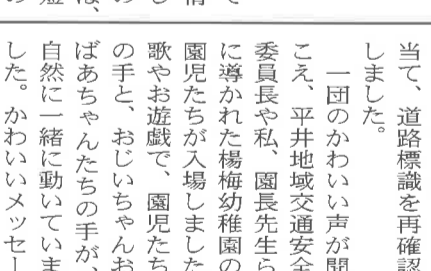
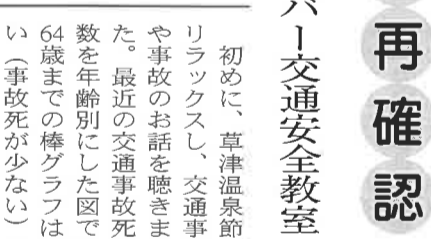
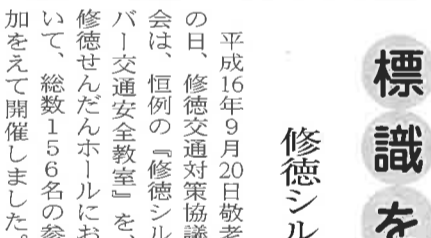
### 第2部 演芸

式典を締めくくったのは山岸春子女性会副会長の祝舞長唄『鶴亀』で、会場はその格調高い舞の姿に、陶然として最高の充実感を味わった。

最初は、有隣マジシャンクラブ有志のマジックショーだ。朱色の「祝」の字を描いた白布で祝ったかと思うと「うどん」を食べる現実に戻ったり



9月のことだから残暑は当たり前、とはいえない。年はあまりにも不順な日が続いたので、それだけ心配していた。その朝の空も、気温も、まずは大丈夫の様子にほっとする。午前中に、すっかり用意が整った会場は、受付開始前から続々と、来賓や会員の皆さんで埋まり、緊張のうちにいよいよ開会である。



人とも、『何もなかった戦後の復興の時期から、黙々と働いて高度成長の時期の発展を支えてこられた。そして、これからの日本の礎として貢献されてきた高齢者の皆さんにお礼を申しあげます』と、われわれへのエールとなる最大の賛辞を贈っていた。ありがたいことである。会場の皆さんもそれに応えて、これからも健康で、出来る限りお役に立ちたいと心に誓われたと思う。

最初、お祝いに駆けつけた熱演に、拍手が続いた。次は尾本茂郎さん（弁財天）の詩吟「京の月」で、会場の隅々まで心洗われ

した。お祝いに駆けつけた熱演に、拍手が続いた。次は尾本茂郎さん（弁財天）の詩吟「京の月」で、会場の隅々まで心洗われ

た。三、四番目は、まちづくり委員会の教室、同好会の皆さんの出演である。まず、三味線の演奏だ。指導者の野村尚助先

生（元両替）と沼田潤子さん、内藤友子さん（ともに小田原）の三味線の合奏で、「黒田節」「祇園小唄」「アンコール」「炭坑節」と、会場の皆さんも一緒に歌って、せんだんホールが和んだ。続いては、川上弘さん（数下）の「風雪ながれ旅」、吉川文子さん（月見）の「紅の舟唄」、山本伊佐雄さん（深草）の「長良川艶歌」、山本義子さん（深草）の「愛の賛歌」の熱唱が会場を魅了した。演芸の取り手は「成徳熱愛会」の「南京玉すだれ」である。代表の田中尚子さんは「他地域でも定評がある」芸だという。口上も爽やか

なもので、数々のショウトが次から次へと繰り出された。名残惜しいという感情を拍手にかえて、まだ、洒落た口上を耳に

しながら、退場を見送った。司会の私、都倉の声も、歓声にかき消されたままだった。

### 第3部 祝宴

祝宴は小西宏之自治連合会副会長の乾杯の音頭で始まった。司会の中村順恵女性部長が自ら先頭にたって「ロンドン橋」の音楽にのせて面白ダンスを披露した。また、趣向をこらした福引きにわくわくして、お酒も食事もどんどん進む。お互い近くで暮らしていても、普段はなかなか一堂に集まることも少なく、語らいつつ、最後は、全員で「幸せなら手をたたこう」を合唱し、30周年式典は期せずして「大盛會」だったなあという声



女性部長から浅野さん、岩井さん、中村部長、吉川さん、川上さん



伝統のある修和会を率いる中村会長挨拶

### 上寿のお祝い

満100歳  
おめでとうございます  
山上トメさん（月見）  
9月14日（火）10時30分から、上寿をお祝いし、榊本京都市長と小泉首相からの表彰状と記念品が岡本下京区長から渡された。山上トメさんは、しっかりした応対で、たいへんお喜びだった。



前列左 山上トメさんを祝う下京区、修徳自治連の皆さん

### 卒寿のお祝い

満90歳  
おめでとうございます  
喜ぶの会長表彰が、あります。  
京都市老人クラブ連合会から、長寿をお祝いし、喜びの会長表彰が、あります。  
満90歳祝賀表彰の方々  
岩間 康弘（吉水俊成）  
瀬尾 マチ（大江）  
内貴 むめ（大堀）



交通規則と人と車と道の状況見てと道手さん

### 修徳シルバー交通安全教室

平成16年9月20日敬老の日、修徳交通安全協議会は、恒例の『修徳シルバー交通安全教室』を、修徳せんだんホールにおいて、総数156名の参加をえて開催しました。五条署の巡視員道手係長と中山さんにご指導いただきました。



かわいい楊梅幼稚園の遊戯と合わす参加者

### 標識を再確認

修徳シルバー交通安全教室  
初めに、草津温泉節でリラックスし、交通事情や事故のお話を聴きました。最近の交通事故の数を年齢別に示した図では、64歳までの棒グラフは短い（事故数が少ない）のに、さて、65歳以上の棒グラフを道手係長が持ち出して貼られると、その長さに驚きました。高齢者の交通事故死がいかに多いか身にしみて感じました。夜の外出には、白っぽい服の着用を心がけてくださいと話され、また、日常何気なく見ている道路標識パネルをトラ

ンブの神経衰弱の感覚で当て、道路標識を再確認しました。  
一団のかわいい声が聞こえ、平井地域交通安全委員長や私、園長先生らに導かれた楊梅幼稚園の園児たちが入場しました。歌やお遊戯で、園児たちの手と、おじいちゃんおばあちゃんたちの手が、自然に一緒に動いていました。かわいいうメッセー

ジも伝わり、一生懸命に作った「手作りキーホルダー」をプレゼントしてくれました。続いて、小田原町の熊谷隆さん（紫明ライオンズクラブ）によるマジックショーと、南京玉すだれは、会場がどよめくほどの名演技で、皆さんに、時間のたつのも忘れて喜んでいただき

ました。ライオンズクラブさんからは粒餡入り生八つ橋のお土産まで頂戴いたしました。  
今回の交通安全教室を機に、修徳学区の交通安全事故がなくなり、ご健康で日々快適にお過ごしください。さようご祈念申し上げます。  
修徳交通安全協議会  
会長 数井 晴次

8月22日(日)は土砂降り、野外映画会がせんだんホールに変更され開催された。少補の主催で、烏丸ライオンズクラブさんが、青少年育成のボランティア精神による絶大なご支援をいただいた。

### ファイディングニモ 野外映画会

主催 少補 後援 烏丸ライオンズクラブ



子ども向けの映画は『ファイディングニモ』というディズニー映画だ。ニモは学校へ行ったばかりの子、学校の遠足(?)で南赤道海流の辺り、シドニーから来た釣り人に捕まってしまふ。父親がシドニーまで、ニモ探しにでかける。途中で、女性の魚(?)ドリーと会い、疑ったり信じたりしながら冒険する。ドリーは、人間でいえば、変わり者で人に信用されないが、勘と判断のよさがくれた才能だった。ついに、海ガメの群れに出会い、ニモのいるシドニーへの通路東オーストラリア海流を見つける。一方、ニモの囚われていた水槽では、熱帯魚をもらいにくる悪ガキがすぐ死なせるうわさを聞き、友人たちと脱走計画をたてる。水を汚して入れ替えの時をねらうなど、いろいろな試みにニモも率先して参加する。ついに自力で逃走する。成長したニモがシドニーの海で父親と再会する。

(編集子)



▲(上) 雨で室内に、開会を待つ子どもたち  
▲(下) ニモの父親が海がめに海流を聞く



一時避難所で生活する場所が必要な時、有り合わせのもので家をつくる。積極的に器用に家をつくる学区民のサバイバル力に感心する

### 総合防災訓練

## 修徳公園サバイバル訓練

### 5項目の新訓練企画

### 学区民の適応能力に感心

「煙体験ハウス」が新しく大きくなった。暗がりの中を這う時間が長くなり、外に出られる

「煙体験ハウス」が新のかどうかなど、不安に現実味を帯びさせてくれる。「出られへんか思った子どもの声が聞こえた。



▲安全情報を伝言板に書く、手馴れてきた

避難できていない人を防災マップで確認する

新しい訓練企画の一つ目は、公園の東入口に、布の防災マップの「避難学区民居住地明示板」を置いた。これで、避難してきた人たちの確認すれば、逆に、避難できてい

ない人たちを確認できる。今年の避難人員(参加者)は、施設(修徳)も含め、388名であった。新しい訓練企画2つ目は、本年度の最重要項目になる。自治連合会倉庫にある有り合わせのもの

「家」や設備をつくる。運び出された古いバックキングケースの中に入り込んで、器用に加工している学区民の姿を見ていると、実行力のある学区民

避難住民の相談窓口 心身両面の対応必要



る消火訓練、救護班(第3)が、リヤカーを使って負傷者の搬送訓練、応急救護班(第4)は、手元に三角巾がないという想定で、男性はシャツ、女性はストッキングなどを使った応急手当をして

### 少年補導委員会

## 水遊び キャンプ

少年補導委員会の今年度の最大のイベント「一泊キャンプ」を、一昨年に引き続き行ないました。前回の経験と反省を十分に考慮し、より一層、充実した2日間にしてようと、支部役員一同で何度も話し合いをもち、「自由で楽しく仲間同士で助け合い」をテーマに、7月24日(土)、子ども26人、大人36人、総勢62人で、目的地滋賀県近江八幡市の「休暇村近江八幡」に向けて、JRで出発いたしました。



▲少年補導委員会の夏のキャンプは、子どもたちから期待されている。子どもたちが健全に育つ環境づくりがここにある。

1年を通じて、数々の少年補導の活動がありましたが、今年行ないました一泊のキャンプという行事で、子どもへのあどけないさ、誠実さ、また、ちよつぱり、やんちゃなところなど、真の子どもの姿をまざまざと見ることができました。私たち大人も子どもたちに教えられることが随分あり、大人と子どもが一体となって初めて分かるんだと、体感いたしました。「これが少年補導活動なのかな」と考えさせられました。お話を聞いていただいた方には、その大変なご苦労と、子どもたちにして、親たちにも、貴重な体験を与えていただいたことに感謝いたします。これからも少年補導の行事にご理解、ご協力の程、よろしく願います。

五条少年補導委員会 修徳支部副支部長 藤本佳裕 実行委員長

## 子と大人一体感 一泊キャンプ

再認識した一日であった。加していただけば頭在化する。学区の防災力を

肝試し、花火、2日目も早朝よりカブト虫取り、ウォークラリーなど、2日間休む暇もないくらい子どもたちと共に楽しみ、また、交流を深めることができました。

2日間の野外での行程で一番緊張するのは、病ケガ等の突発的な事故です。お話を聞いていただいている方々は、想像を絶するご苦労で、疲労が積み重なっておられ

る様子でした。その上、今年の異常ともいえる暑さのなかでの行動で、終盤は気力ががんばっていた、ただ、でも、その皆様のご苦労の賜物で、子どもたち全員、病ケガもなく、のびのびと自由に、楽しく2日間を過ごしてくれました。修徳学区の子どもたちは私たちが大人との約束事を十分に理解して、忠実に守ってくれ、そのルールの範囲内で、目いっぱい楽しんでくれたことを誇りに思いました。

1年を通じて、数々の少年補導の活動がありましたが、今年行ないました一泊のキャンプという行事で、子どもへのあどけないさ、誠実さ、また、ちよつぱり、やんちゃなところなど、真の子どもの姿をまざまざと見ることができました。私たち大人も子どもたちに教えられることが随分あり、大人と子どもが一体となって初めて分かるんだと、体感いたしました。「これが少年補導活動なのかな」と考えさせられました。お話を聞いていただいた方には、その大変なご苦労と、子どもたちにして、親たちにも、貴重な体験を与えていただいたことに感謝いたします。これからも少年補導の行事にご理解、ご協力の程、よろしく願います。

五条少年補導委員会 修徳支部副支部長 藤本佳裕 実行委員長

## 現場で豚汁調理

本年度は、地震発生後、救助、救急、初期消火などの活動が一段落したあとの「避難生活に関する初期の体制づくり訓練」を実施することになりました。このような事態になったとき、私たちのすべき大切なことは、食糧のことだ、豚汁を担当いたしました。

中村会長はじめ、役員が、早速、公園の片隅で調理を始めました。女性会はお手のもので、すぐさま、おいしい豚汁の出来上がりです。訓練ですから、用意と、心の準備ができていますので、素早いものです。しかし、実際に地震が発生したとき、300食という大量の食材、燃料、調理器具などを

準備など、緊急時の体制整備が、至急必要だと感じました。今回の給食訓練において、大量の食材を使った豚汁づくりは、本当に良い経験になりました。実際に災害が起こったときのことを考えると頭を痛めるのですが、訓練をしておくことがいかに大切かを考えさせられました。防災について、これからは皆様に役立つ、いろんなことを考えていきたいと思えます。

今回は、訓練とは別に、大勢の皆様を整えることができるのか、作業しながら心配になってきました。災害が起きる前から、給食班は女性会が担当することに決まっていたのでしたら、災害時に食材はどこから入手するのか、燃料、調理器具その他についての入念な準備など、緊急時の体制整備が、至急必要だと感じました。

女性会 幹事 渡辺 勝子

女性会が300食の豚汁の調理に挑戦した。おいしいの評判。

四季の会

秋草色の湿原に白樺の白

秋の尾瀬にあこがれて

布屋町 中谷 千枝

9月18日・19日、11名で秋の尾瀬を訪ね、1泊2日の旅をたのしみまし

幸い天気にも恵まれ、上毛高原からバスをのりつぎ、鳩待峠に昼すぎに着く。軽く昼食をすませ、リュックを背に、ひたすら石道や木道を降りること一時間半、尾瀬湿原の入口、山の鼻へ着く。山とりかぶとの青紫の花が迎えてくれる。

健脚組は、すでに荷物を持って、尾瀬湿原の散策に、私達4人も山小屋の宿泊手続きをすませて、一時間余り、湿原を歩くと、草紅葉には少し早かったが、湿原は枯草色に、赤が混じり秋色に……。木道ぞいに、白いうめばち草、青紫のえぞりんどう、黄色いアキノキリン草、紅いわれもも……。花好きの女性陣も大満足。

山小屋の夕食は早く、8時の消灯まで大部屋で車座になって、話題豊富な面々、楽しい懇談を。翌朝は冷えびえとして、朝焼の山と青空。至佛山を正面に、ちがった遊歩道(木道)を散歩。秋草色の湿原に白樺の

幹の白さ、みんなで記念写真を。予定より早く、7時半出発。今度は登り道。私達夫婦は70歳代、マイペースで、一時間半かかって峠へ。みんなと合流し、途中下車して「吹割の滝」を見学、老神温泉に立ち寄り、汗を流して、昼食の小宴を……。2日間をフルにつかっ

て1泊の旅。自然の中で心いやされ仲間とのつながりも深まりました。

波風の立ちし日もありし五十年  
視の歳越え金婚迎う  
息吹きかけ罪と穢れを人形に  
夏越しの穢い城南宮にて  
徳万町 今井 栄子

力関係 なんと悲しい言葉だら  
鉛筆も踏絵もカネが顔を出す  
新紙幣 昔の偉人に事欠かず  
困境を裸足で命がけレース  
街角に美徳の失せたゴミ袋  
井財天町 都倉 昭蔵

9月23日の秋分の日、修徳学区39人、小学生数人も交え、京都一高い愛宕山に登った。比叡山と背比べしているけれど、火の用心の神様として全国の信仰を集める、険しいが親しみのある山だ。去年は御鎮座千三百年祭があった。お話を聞いたもののビビッてしまい、今年は森田分団長のお励ましを受けて元気が出た。皆さんのグループより遅れ、登り3時間、下り2

時間、われわれ玉虫さんと2人は福井さん、櫻田さんの特別加勢をたまわり無事大願成就できた。清滝二の鳥居過ぎでの急坂には面くらう。杉木立暗く壺割坂の難所までは苦しい。千日詣の日に

はシキミ売りがあるといいう花売り場の小屋でホッと一息。5分歩いては1分休み、休みながら黒門めざす。

台風が9つも来たお山は、さすがに落葉や倒木が目立ったが、それでも登山者は少なくない。女性も多かった。お社の神前に文字通り辿り着いた。神様はアタゴといひ、京都の古いお名はオタギというのお

もしろい。京都市民の務め果たした満足と感謝の気持ち一ぱいの一日でした。

愛宕神社の本宮には、伊邪那美命、伊邪神、若宮には、火之夜芸速男神(別

名、火之迦具土神)他2神を祭る。古事記上巻の有名な国生み神話のつぎに生まれる神のうち、火之迦具土神を生んだとき、伊邪那美命が火傷をされたという「火」に関連する神である。(編集子)



▲尾瀬の湿原の黄色と白樺がコントラストをなす。布屋町四季の会のみなさん(川村庄治さん撮影)

愛宕山登山

火の要慎の神様

学区の無火災祈つて

御供石町 吉田 金彦

9月23日の秋分の日、修徳学区39人、小学生数人も交え、京都一高い愛宕山に登った。比叡山と背比べしているけれど、火の用心の神様として全国の信仰を集める、険しいが親しみのある山だ。去年は御鎮座千三百年祭があった。お話を聞いたもののビビッてしまい、今年は森田分団長のお励ましを受けて元気が出た。皆さんのグループより遅れ、登り3時間、下り2

時間、われわれ玉虫さんと2人は福井さん、櫻田さんの特別加勢をたまわり無事大願成就できた。清滝二の鳥居過ぎでの急坂には面くらう。杉木立暗く壺割坂の難所までは苦しい。千日詣の日に

はシキミ売りがあるといいう花売り場の小屋でホッと一息。5分歩いては1分休み、休みながら黒門めざす。

台風が9つも来たお山は、さすがに落葉や倒木が目立ったが、それでも登山者は少なくない。女性も多かった。お社の神前に文字通り辿り着いた。神様はアタゴといひ、京都の古いお名はオタギというのお

もしろい。京都市民の務め果たした満足と感謝の気持ち一ぱいの一日でした。

愛宕神社の本宮には、伊邪那美命、伊邪神、若宮には、火之夜芸速男神(別

名、火之迦具土神)他2神を祭る。古事記上巻の有名な国生み神話のつぎに生まれる神のうち、火之迦具土神を生んだとき、伊邪那美命が火傷をされたという「火」に関連する神である。(編集子)

表彰 受賞者のお知らせ

(敬称略)

9月12日 京都市少年補導委員会 会長表彰  
平岩 真治(材木)  
北脇よしみ(大江)

10月3日 下京区体育振興会連合会 会長表彰  
下京区長表彰  
永年地域体育振興会の発展に努力貢献  
山上 稔(坂東屋)  
高橋 卓也(玉屋)



▲愛宕山登山に向かう39名の参加者。最年長は吉田金彦さん(81) 最年少は棚部芹さん(小2)

「地名と文化遺跡研究同好会」は、俊成社と新玉津島神社との伝承を守る両町を無条件で支えていきたいと望んでいる。ただ、中世史家の今谷明氏が藤原俊成の邸宅は「五条京極(松原河原町)であった」と断定された。後世の史料ではなく、その時代に近い史料でこれに反論するのが、歴史を学ぶものの常識である。紙数がないので、今後の検討方向だけお知らせしておく。(1)新玉津島神社の縁起にある「和歌の

俊成の旧邸の伝承を伝える 地名と文化遺跡研究同好会

神衣通姫を祀る紀州玉津島神社を、俊成の邸宅内へ勧請せよという後鳥羽

教育相談『ひよこの日』

みんな おいで いつも楽しい

ようばい幼稚園

9時から11時30分

遊びに来れる日 3歳児 月・水・金 0歳児 火・木

安心して、小さなお子様にご遊んでいただけるよう、当園の施設を開放しています。

\*幼稚園の生活に出会い、楽しい行事もあるよ。  
\*いろいろな体験ができるよ。

京都市立ようばい幼稚園

TEL 351-0937 (住所) 醍ヶ井通松原下る篠屋町59

人事往来

誕生 おめでとう (敬称略)  
7月21日 水本 園乃(小田原)  
9月3日 山崎 晴斗(月見)

転入 よろしく  
7月1日 ポテト(カントリー)  
(五島恵王子)

転出 お元気で  
7月31日 山下 徹 (玉屋)

訃報 お悔み申します  
8月13日 青山商事  
8月26日 佐々木 奨(御供石)  
棚橋 勝子(井財天)

お客様とともに 時代とともに

わたしたちアイフルグループは さまざまなサービスを創造する リテール総合金融企業を目指します。



安心・創造企業 アイフル 株式会社/本社:京都市下京区丸太町五條上る高砂町381-1 TEL.(075)201-2000(代表) http://www.aiful.co.jp

夢の半径、広がるね。



編集後記  
あるシンポジウムで、京都人の賢さが話題になった。カド掃き水打ちは、自分の家の幅だけい知恵だそう。大切な客を送り出し客が社を曲がるまで見送る。親しく客の心に入り込み、礼を尽くす。曾祖父からの京都人は少ない。それでいて京都人の習慣が伝承されていく。面白い。